

川越市版スーパー・シティプロジェクト ～小江戸川越 次の100年へつなぐまちづくり～

概要 新技術等を取り入れながら、多極ネットワーク型都市構造を形成し、魅力的で持続的なまちづくりを推進する。

課題 ・中心市街地の賑わい低下 ・市民の高度化するニーズへの対応 ・激甚化・頻発化する災害への備え

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	多極ネットワーク型都市構造を形成し、魅力的で活力を生み出すまちづくり	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> ◆豊かなライフスタイルを叶える交流拠点の形成 ◆交通結節点にふさわしい快適な移動環境の充実 ◆歩行空間の整備による歩いて楽しいまちづくりの推進 ◆駅を起点に賑わいをつなげる回遊性の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺整備、交通対策、事業参画 ・賑わいの創出、商店街活性化 ・地域に応じたビジョンの作成など
スマート	新たな技術を活用した、人と人とのつながりから広がるまちづくり	中～長期 (5年～10年)	<ul style="list-style-type: none"> ◆デジタル技術を活用した暮らし、観光、子育て、防災、渋滞等に関する情報発信力の強化 ◆スマート街灯・防犯灯の導入による街の安全性の向上 ◆センサー等の新技術を活用した地域課題(見守り、空き家等)の解決 ◆新たな技術を活用した、円滑な交通ネットワーク及び持続可能な公共交通の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT利活用 ・リアルタイムな交通情報発信 ・防災情報発信 ・スマート街灯 ・地域見守りサービス ・交通ネットワークの再構築 ・EVの導入及び運行
レジリエント	安全・安心で持続可能なまちづくり	中～長期 (5年～10年)	<ul style="list-style-type: none"> ◆帰宅困難者の滞在などを視野に入れた駅周辺における広場等の形成 ◆太陽光発電、EV等を活用した災害時のエネルギー確保 ◆無電柱化等による防災・減災の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災広場 ・蓄電技術 ・低コスト手法

川越市版スーパー・シティプロジェクト 取組イメージ

コンパクト（都心核+地域核）

多極ネットワーク型都市構造を形成し、魅力的で活力を生み出すまちづくり

- ◆豊かなライフスタイルを叶える交流拠点の形成
- ◆快適な移動環境の充実
- ◆歩いて楽しいまちづくりの推進
- ◆駅を起点に賑わいをつなげる回遊性の創出



スマート（市全域）

新たな技術を活用した人と人とのつながりから広がるまちづくり

- ◆デジタル技術を活用した、情報発信力の強化
- ◆スマート街灯・防犯灯の導入による街の安全の向上
- ◆新技術を活用した地域課題（見守り、空き家等）の解決
- ◆新たな技術を活用した、円滑な交通ネットワーク及び持続可能な公共交通の構築



レジリエント（市全域）

安全・安心で持続可能なまちづくり

- ◆帰宅困難者の滞在などを視野に入れた駅周辺における広場等の形成
- ◆太陽光発電、EV等を活用した災害時のエネルギー確保
- ◆無電柱化等による防災・減災の推進



凡	例
	都心核
	都市的活動核
	歴史・水・緑核
	地域核
	主要幹線道路
	(赤線は整備中または未整備の路線)
	主要幹線構想道路

第四次川越市総合計画（将来都市構造図）を基に作成

取組イメージは、現時点の想定であり、変更となる場合があります。